

2010 年度年次大会 会長報告

2011 年 5 月 15 日（日）

於：香港日本人倶楽部

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

皆様

本日は貴重な休日のお時間をお割きくださり、NPO 法人「非営利団体」である日本語教育研究会第三回総会にご出席いただきまして、心から御礼を申し上げます。

まずは、去る 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震と津波により被災された方々やそのご家族に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、香港日本語教育研究会は NPO 法人「非営利団体」として日本語教育・日本研究の教育関係者・研究者の方々との学術・教育交流を進めておりますと共に、香港における日本語教育の促進に力を注いでおります。

ご存知のように、2009 年度から、日本語は高校で受験科目として取り入れられています。その現状を把握するために、研究会は 2010 年 5 月に「2009 年香港高校日本語教育実況」アンケート調査結果をまとめ、引き続き、11 月から、「2010 年香港高校日本語教育実況」アンケート調査を行いました。これらの調査結果に基づいて、香港の中等日本語教育における問題点を探究し、その解決方法を模索できればと思っております。なお、高校の日本語教師に最新の教材と教授方の情報を提供するために、「国際交流基金日本語教育ネットワーク」より教材の援助をいただき、2010 年 7 月から、三回にわたって、木山登茂子先生のご協力で、「香港中等日本語教育の高校教師研修」を行いました。又、高校の学習者の学習意欲を高めるために、日本語成績優秀者の奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞を設立しました。今後、香港における中等日本語教育はより盛んになっていくと期待されています。

さらに、2010 年度のもう一つの重要な事業は、新しい日本語能力試験の導入と共に、年に二回試験を実施することになりましたことです。

海外との交流におきましては、日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、オーストラリア、欧州、カナダの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。これによって、世界各地との双方の学術及び教育交流、そして、世界的な視野を持つ香港日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、あらためて在香港日本国総領事館、国際交流基

金、そして会員の皆様方の暖かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。また、理事の皆さま、各委員会の委員の皆さま、事務所の職員のご皆さまのご尽力のおかげで、2010年の研究会の業務が順調に運ばれましたこと、心より感謝いたしております。

今後とも、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2010年度の本会の活動報告をまとめました。

2010年度 活動報告(2010年1月1日～12月31日)

- 1月31日、国際交流基金の依頼を受け、香港地域の2009年第2回日本語能力試験N5級模擬試験を実施。その前日の1月30日、国際交流基金日本語試験センターの大澤公一研究員による「新しい日本語能力試験」についての説明会を開く。
- 3月27日及び28日、日本語教育における理論及び教授法講演及びワークショップを主催。協賛団体は国際交流基金JFにほんごネットワーク、内容は以下の通り。
講演会
 - ①『初級文法項目を再考する—重要項目の提示のしかた—』小川 誉子美先生（横浜国立大学）
 - ②『脱構築の授業学—教材論の視点から—』荒川 洋平先生（東京外国語大学）ワークショップ
 - ①『文法項目の導入—初級から中級へ—』小川 誉子美先生（横浜国立大学）
 - ②『効果的な動機づけへの試み』荒川 洋平先生（東京外国語大学）
- 4月10日、木山登茂子先生(国際交流基金アドバイザー)及び阮亦光先生(研究会副会長)による新しい日本語能力試験についての説明会を開く。
- 4月18日、第6回香港中高生日本語スピーチコンテストを開催。
 - ◎ 会場：香港大学專業進修学院保良局社區書院
 - ◎ 出場者数：暗誦の部15名、スピーチの部10名
- 4月25日、研究会の第二回総会が行わる。
 - ◎ 香港日本語教育研究会は2007年9月NPO法人非営利団体になり、会則によって、2010年度理事立候補者10名が定数内のため、全員無投票当選となる。
- 5月、「2009年香港高校日本語教育実況」アンケート調査結果をまとめる。
- 6月19日、香港地域の2010年第1回日本語能力試験N3級模擬試験を実施。
- 7月4日、2010年第1回日本語能力試験(N1、N2、N3級)を実施。
- 7月中旬、(独)日本学生支援機構の依頼を受け、「日本留学資料公開拠点」となる。

- 7月31日～8月1日、台湾で行なわれた「2010年日本語教育国際研究大会」に出席、「日本語教育国際連携ネットワーク代表者会議」に参加。
- 8月24日～9月30日、「2010年香港日本語学習者背景調査」を実施。
- 11月21日、香港地域の2010年第2回日本語能力試験N3級～N5級模擬試験を実施。
- 11月21日、「海外帰国子女教育セミナー」が当会の会議ホールで行なわる。
 - ◎ 講師は井嶋悠先生(NPO法人日韓・アジア教育文化センター代表)、山口久仁子先生(ピアーズ@関西事務局長)、山下良一先生(海外子女教育振興財団教育相談員)。
- 11月～12月、「2010年香港高校日本語教育実況」アンケート調査を行う。
- 12月5日、2010年第2回日本語能力試験(N1～N5級)を実施。
- 香港地域において2010年度日本語能力試験を1年に2回実施。受験応募者数の合計1万4559人。

【理事会】

毎月第3土曜日(10時～12時)に定例理事会を開き、理事による審議・討論を経て、会の運営等の決定をする。2010年度は計11回の会議を行う。

【月例会】

月例会は従来どおり、毎月第2土曜日(2時～4時)、香港日本語教育研究会で行っている。講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で行い、2010年度は計9回、参加者は毎回平均35名前後。